



雰囲気は伝播する

史上最高気温を更新する地域も多かったこの夏。毎日、駅から職場までの徒歩通勤では汗だくになりながら歩いていましたが、いつの間にか季節はすっかり秋模様となってきました。

数か月前、帰宅途中に自宅の最寄りのコンビニに立ち寄りしました。どこにでもある普通のコンビニで、その日も特に何を思うわけでもなく買い物をしようと店内に入ると「いらっしゃいませー！」ととても元気な声が出迎えてくれました。思わず顔を上げて声のした方向を見てみると初めて見る店員がレジにたっており、商品を選んでいるときも「次のお客様どうぞ」「ありがとうございました」と店内に響き渡る声で接客をしています。コンビニでそういった対応をされている方はあまり見かけることはなく、また私自身も期待していなかったのですが、いざ会計をする際には満面の笑顔に対し思わずこちらまで笑みがこぼれました。

その時は明るい店員が入ったのだなくらいに思っていたのですが、先日ふと周りの店員の声が大きくなっているのではないかと感じることもありました。他の店員も、レジでの対応がよくなっている印象を受けたのです。客観的に見て、思い当たる要因はあの元気のいっばいな店員の存在でした。その店員の明るい対応が他の店員にも伝わっていったのだと思います。

これは私自身の主観なので、実際は他に要因があったのかもしれませんが、その場の雰囲気で自分の気持ちや行動が変化するというのは誰しも経験があるのではないのでしょうか。

暗い雰囲気はマイナスな気持ちに、明るい雰囲気であればプラスな行動が増えていくのだと思います。昔ながらの雰囲気や風土といったものを変えるのは簡単ではありません。ですが、雰囲気は伝播します。小さなことでも新しくプラスな行動を始めれば、その影響が周りに出てくるのではないかと感じた体験でした。私は出勤して最初の挨拶は声のボリュームを一段上げることから始めてみます。

運営環境整備部長 剣持 勇氣



仕事をする上で大切にしている事

こぶしに勤め早3年目になります。当初は、転職をしたものの本当に自分に務まる仕事なのだろうかという疑問に思う日々があったのを覚えています。しかし、先輩のアドバイスを受け試行錯誤しながらここまで続ける事が出来ました。

その中で、私は仕事をする上で変わらず大切にしている事があります。それは「笑顔でいる事」です。“笑顔は人を笑顔にする事が出来る魔法” 私はそう思っています。自分自身が楽しく笑顔でいれば、相手も笑顔になったり多少の嫌な事は忘れる事が出来るのではないのでしょうか。また、利用者が笑顔でいる事で元気をもらったり、気持ちが穏やかになったりする事もあると思います。気持ちが落ち着く事で相手の良い所が見えたり、プラス思考に考える事が出来たりと・・・笑顔でいる事をモットーに楽しく仕事をしていけたらと思います。

生活支援員 大鹿 真利会

枠を外す

施設長 貝沼 寿夫



秋になり、玄関にかわいいキノコとさつまいもが登場！

猛暑や自然災害に見舞われた夏でしたが、秋の気配が深まってきました。今月20日の土曜日には、1年の中で一番大きなイベントのこぶし祭りを開催いたします。いつの頃からなのか共生社会という言葉に耳にすることが多くなりました。共生社会とは、地域の中に障害のある人も、病気の人も健常者も当たり前のように生活している、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会と云うことだそうです。障害者福祉サービスを行う上での根拠法にも記されており、その社会を実現する一端を担う役割が私たちにもあります。

先日とある小学校の教員の方から聞いた話です。その学校では、障害児と健常児が共に学んでいます。コミュニケーションが苦手な自閉症児が、同じクラスの友達が手を挙げて発言する姿を観て、不規則な発言ばかりだった彼が発言したい時には、手を挙げるようになったそうです。また文字通りにしか理解できない彼は、廊下に張り出されたポスターを観て、絶対に廊下を走ることは無かったそうです。健常児も彼を見習い、廊下を走らなくなつたそうです。ある場面では健常児が障害児のお手本となり、またある場面では、障害児が健常児のお手本になった事例です。同じ教室で学び合う機会があり、お互いを支える環境だからこそ、共に成長することができたのでしよう。

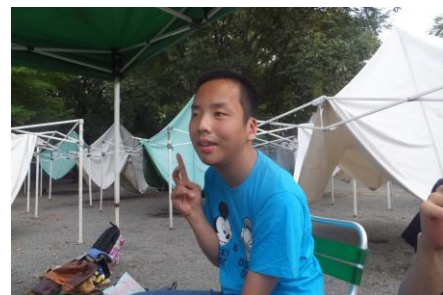
私たちは、何か新しいことをしようとす

とき、「どうせ無理」・「仕方ない」と諦めてしまうことがあります。これは、自分の価値観やこれまでの経験・一般的な常識から、自分自身の枠を作り、その枠の中で判断してしまふからかもしれません。いったん枠を外して、これまでの価値観や常識にとらわれず自由な発想をすることができれば、諦めることなく違った結果が得られるでしょう。

共生社会を実現していくには、これまでの枠を外していく必要があると感じています。私たちはすべて知らない状態から始まり、理解し、そしてしている状態になります。前述の子供たちも、障害というものを知らない状態から、知っている状態になり、お手本にして、同じ教室の中で分かり合える状態になっていきました。社会を変えていくことは、大きすぎて叶わないかもしれない、どうせ無理と考えてしまいがちですが、私たちがから枠を外して、身近なことから始められれば、積み重ねを経て、やがて大きなうねりとなって社会が変わっていくかもしれません。

そんな思いを込めた今年のコぶし祭り。枠を外して、今までとは違った取組もたくさん用意しています。春から利用者さんたちだけで演奏しようと練習してきたトーンチャイム。地域のお子様たちに気軽に来ていただけるようにゲームやイベントも充実させています。まずは、第1歩目のお互いのお互いを知れる機会をこぶし祭りの場で提供したいと考えています。多くの皆様のご来場を職員・利用者一同お待ちしております。

日帰り旅行 ~BBQ~



自衛消防訓練審査会

9月20日(木)に東久留米消防署の自衛消防訓練審査会が行われ、ライフパートナーこぶしからも職員2名が参加しました。当日は5チーム中2位となり、賞状を頂きました。今後もこうした訓練に参加するとともに、施設内での避難訓練等を積極的に行い、職員・利用者の防災意識を高めていきたいと思ひます。



ふわっとんだより

あのとでも暑かった夏が嘘のように、急ぎ足で秋が訪れましたね。ふわっとんでは、秋はイベント出店の季節なので、日々販売用のお菓子作りに精を出しています。

オリジナル焼き菓子として、ふわっとんでお出ししている深入りのコーヒーや季節の果物を使用したパウンドケーキとクッキーを作っています。こぶしまつりでも販売しますのでぜひご賞味ください。写真は、カットして個包装したパウンドケーキにラベルを貼っているところです。とてもきれいに貼ってくださっています。

また、こぶしまつりでは「Cafe ふわっとんこぶし店」を臨時営業いたします。



限定販売のホットドックや、ケーキプレート、手作りプリンや水出し珈琲で清瀬のふわっとんでお出ししているメニューをこぶしで販売する予定です。「普段なかなかふわっとんまで行くタイミングがないなあ」という方は、ぜひこの機会にCafe ふわっとんこぶし店に足をお運びください！お待ちしております。



こぶしまつり開催のお知らせ

日時：平成30年10月20日(土) 10:30~15:00 ※雨天決行
こぶしまつりを開催いたします。



お招きした外部団体の皆さんのパフォーマンスだけでなく、利用者の皆さんによる歌や演奏もあり現在練習に励んでいます。他にも保護者会主催のバザーや模擬店はもちろん、Cafe ふわっとんの喫茶コーナーやこむぎ班の焼き菓子の販売など催しは盛りだくさん。是非お誘いあわせの上、ご来場ください！

自信

あっという間に秋になってしまいました。こぶしに入職してから二回目の秋を迎えています。春には先輩が入り、先輩という立場になりましたが4月の時点では全く実感が持てずにいました。私自身一年経ちましたが、まだ出来ていないと思う事が多かったことも要因だったと思ひます。

現在そこから半年が経ちましたが、最近自信が持ててきたと感じられるようになってきました。出来ないと思っていたことが出来るようになり、更に支援が楽しい・やりがいがある！と思えるようになったからだと思います。自信は人を大きくするものだと思います。なぜなら私自身心が広く保てるようになりました。心の余裕が出来ると仕事面でもプライベートでも上手くいくことが多くなり、充実しています。この先、油断をしないように気を付け様々なことに挑戦していきたいと思ひます。

生活支援員 佐藤 里胡